

比較文化演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-413
選択必修 2単位

藤田 敏明

1. 授業の概要(ねらい)

主題:「欲望と権力闘争」—人類が文化、文明をもって、野生動物の「本王」から解き放たれたと同時に、人間独自の「欲望」を持つにいたりました。欲望は限界なく増大し、ついには同種人類同士が殺しあうにまで至ります。お互いを排除しあう「権力闘争」です。この、恐ろしいと同時にきわめて「人間的」な事項を、文学者たちがどう取り上げ、描いてきたか、を考え、「人間」とはどういうものか、について考えを深めていきます。基本的にシェイクスピア「マクベス」をメインテキストとし、そこから、各種の表現媒体に広がっていきます。

2. 授業の到達目標

人間の「欲望」の醜さ、恐ろしさと同時に「人間らしさ」を理解し、それを、どのように、各自のオリジナルな言葉で表現できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

毎回、映像を見ていただき、それに対して何らかの感想を記入してもらい、それが平常点となります。学期末に個人プレゼンテーションおよびレポート提出、平常点55%、プレゼンとレポートで45%という割合に足りますが、プレゼンおよびレポートは必須です。

4. 教科書・参考文献

教科書
シェイクスピア 「マクベス」 ちくま文庫
参考文献
毎回、各種映像を見ていただきます。

5. 準備学修の内容

事前に、作品テキストは同僚し、できれば、内容に対して理解してしてほしい。また、ヨーロッパ文化、歴史に関する基本地図は必要。

6. その他履修上の注意事項

漠然と「授業の場にいる」だけでは意味がない、human being として、humanityを学ぶ、という意識を持ってほしい。レポート、プレゼンでのコピペは必ず判明するので、肝に銘じておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 人類が道具を持つことを覚えたとき、欲望が生まれた—映画「2001 A space odyssey」より。
- 【第2回】 「マクベス」1,2幕—王位をめぐる争い
- 【第3回】 3,4幕—殺人の連鎖、マクベス夫人の狂気
- 【第4回】 5幕—悪王はほろんだ—ただ、それが解決か?
- 【第5回】 オペラ「ドン・カルロ」1,2幕強権の支配者
- 【第6回】 3,4幕
- 【第7回】 5幕
- 【第8回】 バレエ「ジゼル」前半
- 【第9回】 後半—夜の世界の支配者
- 【第10回】 歌舞伎「ヤマトタケル」—日本古代における権力支配
- 【第11回】 後半
- 【第12回】 ミュージカル「スイニー・トゥッド」権力構造は、誰一人幸せにしない
- 【第13回】 後半
- 【第14回】 学生諸君のプレゼン 4,5名
- 【第15回】 プレゼン、二回目—ただし、履修した学生諸君の興味の対象に従って、授業内容を変更することもあり得ます。